

令和8年度 学校経営方針 概要版

羽村市立富士見小学校長 市川 晃司

令和7・8年度 羽村市教育委員会 教育研究指定校

参考資料

- 教育基本法 ○学校教育法
- 第4期教育振興基本計画
- 学習指導要領
- 東京都教育委員会教育目標及び基本方針
- 羽村市教育委員会教育目標及び基本方針
- はむらの学校教育
- はむらの授業指針
- はむらの道徳科授業指針

育成を目指す資質・能力

これからの変化の激しい予測困難な社会において、自分の夢に向かって主体的にたくましく、また、人や社会、自然環境等と協調しながらしなやかに生きていく資質・能力

児童の実態

- 純朴で向上心が高い。
- 指示されたことには一生懸命取り組む。
- 自分で課題を見付け、主体的に解決することが苦手である。
- コミュニケーション不足によるトラブルが多い。

合言葉

「夢いっぱい 感動いっぱい 富士見小学校」

【合言葉実現のための3つの取組】

- ① わくわくタイム
- ② 夢・感動ゾーン
- ③ 夢・感動ボックス

学校教育目標

○やさしく（徳）

◎かしこく（知）

○たくましく（体）

8つの基本方針

- 1 すべての教育活動に「めあて」「まとめ」「ふりかえり」を位置付け、児童の「夢」づくりを支援する。
- 2 すべての教育活動で相手（人・社会・自然等）を意識させ、児童に「感動」を実感させる。
- 3 人権尊重の視点から児童一人一人を大切に、誰一人取り残さない学校づくりを推進する。
- 4 「知」「徳」「体」のいわゆる「生きる力」をバランスよく育む。
- 5 「人生100年」の視点で児童を育てる。
- 6 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、授業改善を推進する。
- 7 保護者と一緒に児童を育てる学校づくり、地域の核となる学校づくりを進める。
- 8 カリキュラム・マネジメントを推進し、常によりより学校づくりを目指す。

7つの重点

人権教育の推進 ・人権尊重教育推進校の取組成果を踏まえた実践 ・道徳教育の充実	授業力の向上 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・学習規律の徹底 ・教科担任制の推進	生活指導の充実 ・よさと課題の両面を意識した指導 ・いじめ防止に向けた取組の充実 ・Q-U調査の活用	特別活動の充実 ・学級活動（1）「話し合い活動」の充実 ・異年齢集団による交流活動の充実	特別支援教育の推進 ・合理的配慮の充実 ・校内委員会による組織的な支援 ・特別支援教育の保護者への理解啓発	不登校状況にある児童への支援 ・社会的な自立と登校復帰の両面の視点の共有 ・個の状況に応じた教育機会の確保 ・SUR（別室）の充実	家庭・地域等との連携 ・コミュニティ・スクールによる社会総がかりで子供を育てる体制づくり ・スマイリーサポート（ボランティア）の積極的活用
--	--	--	---	---	---	--

【目指す学校像】

- 1 児童が夢と感動を実感できる学校
- 2 教職員が常に学ぶ姿勢のある学校
- 3 保護者が学校と一緒に児童を育てたいと思える学校
- 4 地域の核となれる学校

【期待する教師像】

- 1 児童に夢と感動を与え、児童から夢と感動を引き出し、児童と夢や感動を共有できる教師
- 2 「人生100年」の視点を持ち、児童一人一人を大切にする教師
- 3 教育公務員としての自覚を持ち、常に指導技術の向上を目指す教師
- 4 「チームFUJIMI」の一員として同僚性を大切にし、高め合い、助け合うことができる教師
- 5 保護者・地域と一体となって児童を育てようとする教師

同僚性